

検査ラインで確認できない病変



- 「深胸筋変性」
- ・初期は深胸筋の中央部が黄白色水腫性を示し、時に出血を伴っている。
 - ・経過が長びくと黄白色部は緑色に変色し、乾燥して萎縮する。



- 「浅胸筋と深胸筋の変性」
- ・左写真の下側が浅胸筋、上側が深胸筋で、いずれも煮肉様に部分的に変性している。
 - ・右写真は深胸筋の断面で、白色部分である約半分が煮肉様になっている。



- 「筋胃びらん・潰瘍」
- ・同一ロットに多発する傾向がある。
 - ・筋胃粘膜面には、びらんと潰瘍、ケラチノイド層は黄変や棚状の肥厚、出血がみられる。



- 「筋胃筋層の変性」
- ・同一ロットに多発する傾向がある。
 - ・筋層は部分的あるいは広範囲に退色している。